

2024年7月2日

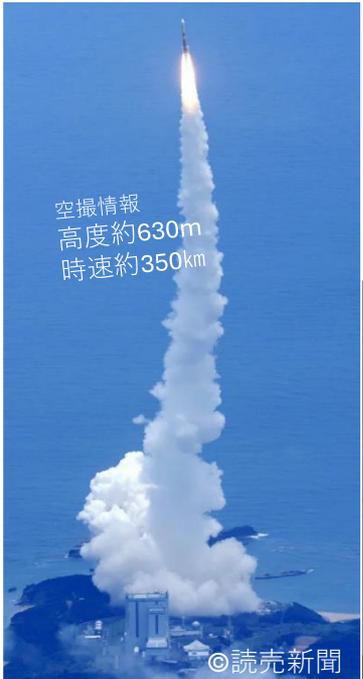
YACかわら版 476

H3 3号機打ち上げ成功

だいち4号

梅雨前線が西日本に停滞している7月1日でしたが、「宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、種子島宇宙センターから2024年7月1日12時6分42秒（日本標準時）に、先進レーダ衛星「だいち4号」（ALOS-4）を搭載したH3ロケット3号機を打ち上げました。ロケットは計画どおり飛行し、打ち上げから約16分34秒後に先進レーダ衛星「だいち4号」（ALOS-4）を正常に分離したことを確認いたしました。...」という報道に、日本中にほっとした空気がひろがりました。

https://www.jaxa.jp/press/2024/07/20240701-1_j.html



今回の打ち上げの様子を、新聞社機が空撮しています。射場周辺を旋回し、打ち上げのタイミングに合わず操縦に感心します。



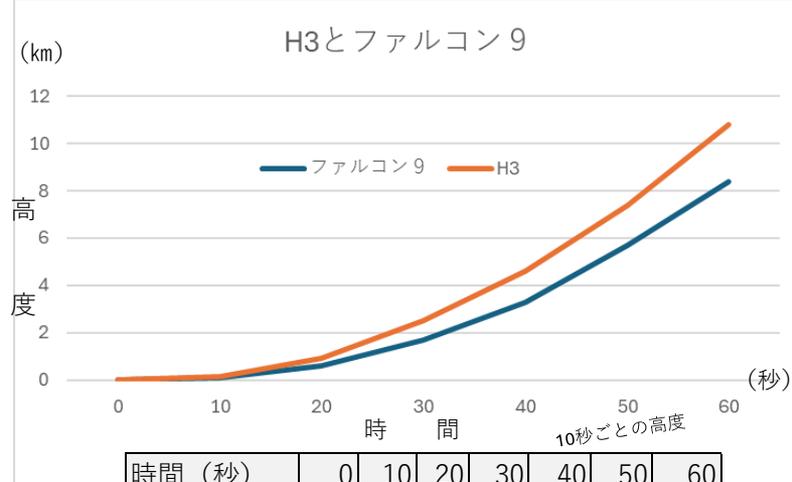
種子島宇宙センターから打ち上げられ、上昇する「H3」3号機（1日午後0時6分、読売機から）＝木佐貴冬星撮影

ロケット打上中継画面に、ロケットの飛行情報が提示されている場合があります。今回の打上げ場面でも飛行情報を確認することができました。魅力的で臨場感があります。

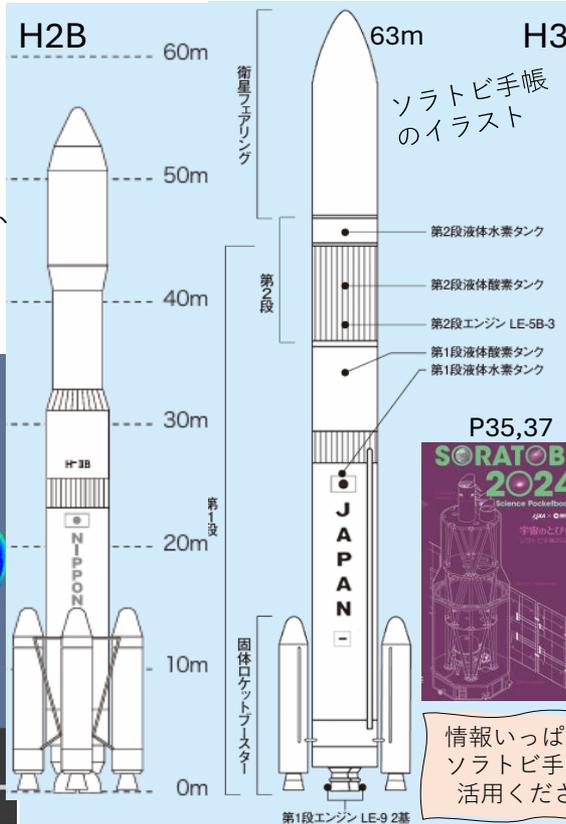
例えばスペースX社の打上中継場面では、第1段着陸も含まれている場合もありますね。

打上目的で飛行計画は決定されていますが、今回の打上げと6月24日打上のファルコン9打上とを比較してみました。

本号では、60秒後までのデータを、比較しました。多くの事例を検討してみると、興味深い研究ができそうですね。



時間 (秒)	0	10	20	30	40	50	60
ファルコン9	0	0.1	1	1.7	3.3	5.7	8.4
H3	0	0.2	1	2.5	4.6	7.4	10.8



情報いっぱいのソラトビ手帳を活用ください